

決條項ハ強制執行力ヲ持タナイモノデアル。然ルニ地主側ハ此ノ
特高課長ノ調停案ガコ、テ成立シタラソノマ、裁判所ニ廻シテ此
ノ條件通りテ裁判所調停ヲ成立サセ、此ノ條件ニ強制執行力ヲモ
タセヨウト主張シタ。ダガコノ處ノヨイ主張ヲ勿論我々ハ認メナ
カッタ。單ニ特高課長ノ調停ニ止メルコトニシテ、最後ノ調停案
ガ示サレタ。條件ノ主ナルモノハ次ノ如クデアル。

一、土地ニ付イテ

第一次小作地返還訴訟ニヨリ第一審判決ノ結果小作契約ノ解
除セラレタル出地一町二反一畝六歩ト外ニ一畝四歩ヲ小作人
ハ地主ヘ返還スルコト。但中川數太ハ所有地ノ内更ニ約二
畝ヲ爭議關係小作人ニ小作セシムルコト。

第三次取上訴訟約三町歩ハ取下ゲ。

二、小作料ニツイテ

昭和六年度 三割五分減 (獎勵米二升)
昭和七年度 二割減

トシ現在預金セル共同保管金殘額五百八十參圓七拾六錢及爭議
準備金四百四拾參圓四拾錢ハ即時地主ニ交附シ殘額ハ一年乃至
四年ノ年賦トス。

三、爭議費用ニツイテ

地主側ハ見舞金トシテ三百圓ヲ増與スルコト。

此ノ調停條項ハ假令強制執行力ヲ持タズトシテモ決シテ我々ノ踏々
トシテ受入レ得ルモノデハナイ。土地圖爭ヲ中心トシテ爭議ハ多數
ノ犠牲者ヲ出シテ、幾分タリトモ土地ヲ返還スルコトハ他ノ條件ガ
ドウアラウトモ我々ニトツテハ敗北デアリ屬辱的解決案デアル。我
々ハ「斯ル屈辱的解決案ニ對シテハ絕對ニ應ズルコト能ハズ」ト決
裂ヲトシテ條件ノ變更ヲ求メタガソレハ最後迄許サレナカッタ。無
條件一任ヲシテオイテ案ヲ一部タリトモ變更スルコトハ許サレヌト
言フノダ。

我々ハ熟慮シ、慎重ニ討議シ遂ニ最後ノ腹ヲキメタ十二日午後五時